## 記入例

被保険者 家 族

## 療養費支給申請書(あんま・マッサージ)

令和6年9月30日施術まで

R6.10改訂

注意 ●消えない黒のポールペン等で記入 ●該当する口に**√**を記入 ●訂正の場合は二重線および押印必要 ●記入漏れがある場合、支給が遅れる場合あり

被促		保険者等 B号番号	記号	1 2 * *	番号	* * * *	* * *	従業員 ※ <sub>事業</sub> 番号	<b>美主から指示があった場合の</b>	)み記入	
保険者	事業所		会社 名称	0000(株)	所属 部署	00	工場	<u> </u>			
	<b>F</b> 夕		(フリガナ)	ケンコウ タ	ロウ				D上、確認欄にチェック<		
(申請者)	氏名		健康 太郎				①申請者本人(被保険者)が作成したものである ②記載内容について誤りがないか申請者本人が確認している				
	生	年月日	昭和 平成	1 年 10	月 10	日 電話番 (日中の連	- UXU	( * *	***) *	* * *	
情報		住所	(〒 ***	一 * * * * * ) 東京 都 道 s	府 県	日野市〇(	○町1-1	$\Delta\Delta$	ンション10	1	
	1	1 受診者		□ 被保険者 🗹 家族		扶養者)					
申請		家族の場合その方の氏名		健 康 花			生年月日	型 昭和 ● 平成 <b>2</b> 年 令和	年 <b>2</b> 月 <b>2</b>	日	
内 容	2	傷病名		関節拘約			3 発病または 負傷年月日	☑ 平成 30 <sup>4</sup>	年 1月 1	日	
	4	4 発病の原因および経過					j 負傷原因届」を併せて提出				
受取方法		1211、1213、121 1236、1240		・ ・が以下事業所の方 17 1230 1234		'イナポータル等で			<del></del> 利用します		
	1			給付金に関する受領を		注)口座情報の反映には登録から数日を要します					
				(事業主経由で支給)	金融	(下拍走口座への振	定口座への振込を希望します 銀行 金庫 (		信組 本店 支		
	2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		219の任意継続の方 定	定名称		農協 漁協 その他( )		本所 支所 支店コード ( ) 出張所 : : : : : : : : : : : : : : : : : : :		
		□		<u>ν</u>	座 預金 種別	種別 一一		/ ** + 1 )   潭上 / *	- (* ) W SB & (* ) 11 dd 1		
	3			▼カタカナ(姓と名の間は1マス開けてご記入ください。濁点(゚)、半濁点(゚)は1 保険者名義)に振込み 口座			7、十海点( )は1子とし	C ac X)			
	J			合、右記a. bどちらか記入	名義						
×	旧受用	受取方法」の1に該当する方は、原則事業主へ委任払いとしておりますが、やむを得ない事情があり個人口座への振込みを希望する場合は指定口座記入									
7.	~-/	X717Z] 0711C			(609497).	<b>ひを侍ない事情かめり</b>	個人口座への振込₫	かで布主りる場に	口は相足口座記入	1	
	1			昭和	月 日	請求区分	新規 継続			一 中止	
***				昭和		請求区分	新規 Ш 継続		帚 □ 治療 [	_	
	1	施術		□昭和 は頼してください。	月 日	請求区分	新規	克 転列	帚 □ 治療 [   数   業務上 □ 第	一 中止	
	1	施術 施術期間 傷病名 マッサーシ	者に記入を依	□昭和 <b>X頼してください。</b> 令和 年 月	月 日 かり 日 かり 局所×	請求区分 年 回=	新規	記 転火 日 まで 実日 务上・外、 [ 皆行為の有無 [ 円	帚 □ 治療 [   数   業務上 □ 第	中止日	
	1	施術: 施術期間 傷病名 マッサー: 変形徒手類	者に記入を依	□ 昭和	月 日 から	請求区分 年 回= 回=	新規	記 転炉 日 まで 実日 8上・外、 音行為の有無 円	帰 □ 治療 [ 数 □ 業務上 □ 第 □ 通勤途上 □ そ	中止日	
	1	施術: 施術期間 傷病名 マッサー: 変形徒手類 温罨法	者に記入を依	□昭和 <b>X頼してください。</b> 令和 年 月	月 日 かり 日 かり 局所×	請求区分 年 回=	新規	記 転が 日 まで 実日 8上・外、 [ 1 8行為の有無 [ 円 円	帰 □ 治療 [ 数 □ 業務上 □ 第 □ 通勤途上 □ そ	中止日	
	1 2 3 4	施術: 施術期間 傷病名 マッサー: 変形徒手類 温罨法	者に <b>記入を</b> 依 ジ 喬正術	□昭和	月 日 かり 日 かり 局所×	請求区分	新規	記 転が 日 まで 実日 8上・外、 [ 1 8行為の有無 [ 円 円	帰 □ 治療 [ 数 □ 業務上 □ 第 □ 通勤途上 □ そ	中止日	
	1 2 3 4 往	施術: 施術期間 傷病名 マッサー: 変形徒手知 温罨法・調 源料	者に記入を依 ジ 喬正術 電気光線器具 ( )kmまで ( )km超	□昭和 <b>対頼してください。</b> 令和 年 月 円× 円× 円× 円×	月 日 かり 日 かり 局所×	請求区分	新規	表 転換 まか ままで 実日 まで 実日 まで 実日 まで 実日 まで 大	帰 □ 治療 [ 数 □ 業務上 □ 第 □ 通勤途上 □ そ	中止日	
	1 2 3 4 	施術: 施術期间 傷病名 マッサー: 変形徒手! 温罨法 温罨法・!	者に記入を依 ジ 喬正術 電気光線器具 ( )kmまで ( )km超	□昭和 <b>X頼してください。</b> 令和 年 月  円×  円×  円×  円×  円×  円×  円×  円×  円×  円	月 日 かり 日 かり 局所×	請求区分         ○         ○         ○         ○         ○         ○         ○         ○         ○         ○	新規	記 転が 日 まで 実日 第上・外、 皆行為の有無 [ 円 円 円	帰 □ 治療 [ 数 □ 業務上 □ 第 □ 通勤途上 □ そ	中止日	
	1 2 3 4 	施術: 施術: 施術明間 傷病名 マッサー: 変形徒手 温罨法・電	者に記入を依 ジ 喬正術 電気光線器具 ( ) kmまで ( ) km超	□昭和	月 日 かり 日 かり 局所×	請求区分	新規	表 転換 まか ままで 実日 まで 実日 まで 実日 第上・外、	帰 □ 治療 [ 数 □ 業務上 □ 第 □ 通勤途上 □ そ	中止日	
施術者が証明するところ	1 2 3 4	施術: 施術: 施術: で変形では、 一部では、 一語では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一語では、 一語で	者に記入を依 ジ 喬正術 電気光線器具 ( ) kmまで ( ) km超 対料 年 月分)	日本	月 日 日 か <sup>i</sup> 局所× 肢×	請求区分 回=	新規	まで 実日 第上・外、 第行為の有無 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円	帰 □ 治療 □ 治療 □ 業務上 □ 第 通勤途上 □ そ 摘要	中止日	
	1 2 3 4	施術: 施術: 徳術朝间 傷病名 マッ形徒=5 温罨法・『 療料 ・ 場合:	者に記入を依 ジ 喬正術 電気光線器具 ( ) kmまで ( ) km超 対料 年 月分)	□昭和  X頼してください。  令和 年 月	月 日 日から 局所× 肢× 5 6 7 8	請求区分         日	新規	まで 実日 第上・外、 第行為の有無 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円	帰 □ 治療 □ 治療 □ 業務上 □ 第 通勤途上 □ そ 摘要	中止日	
	1 2 3 4	施術: 施術: 施術: で 変形 電器 電子 を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	者に記入を依 で 電気光線器具 ( ) kmまで ( ) km超 け料 年 月分)	□昭和	月 日 日から 局所× 肢× 5 6 7 8	請求区分 回= 回= 回= 回= 回= 回= ロ= ロ= ロ= ロ= ロ= ロ= セ は 対 9 10 11 12 13 14 収しました	新規	まで 実日 第上・外、 第行為の有無 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円	帰 □ 治療 □ 治療 □ 業務上 □ 第 通勤途上 □ そ 摘要	中止日	
	1 2 3 4	施術: 施術: 施術: で変形では、 一部では、 一語では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一語では、 一語で	者に記入を依 で 電気光線器具 ( ) kmまで ( ) km超 け料 年 月分)	日和   日本   月   日本   日本   日本   日本   日本   日本	月 日 日 か <sup>1</sup> 局所× 肢× 5 6 7 8 その費用を領 月 日	請求区分 回= 回= 回= 回= 回= 回= ロ= ロ= ロ= ロ= ロ= ロ= セ は 対 9 10 11 12 13 14 収しました	新規 W統 月 E 第三者 第三者 15 16 17 18 19 〒 在 称 電話番号	まで 実日 第上・外、 第行為の有無 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円	帰 □ 治療 □ 治療 □ 業務上 □ 第 通勤途上 □ そ 摘要	中止日	
	1 2 3 4 (前) 5	施術にのできます。 温温料 をおります をおります をおります かんしょう かんしょく かんしょ かんしょく かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	者に記入を依 ・	日和   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本	月 日 日 か <sup>1</sup> 局所× 肢× 5 6 7 8 その費用を領 月 日	請求区分  回 回 回 回 回 回 回 回 回 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	新規	表 転換 まか ままで 実日 第上・外、	帰 □ 治療 □ 治療 □ 業務上 □ 第 通勤途上 □ そ 摘要	日 日 三 書 行為 元 の他	
	1 2 3 4 施前 5 6 同意記	施術にのできます。 温温料 をおります をおります をおります かんしょう かんしょく かんしょ かんしょく かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	者に記入を依 で 電気光線器具 ( ) kmまで ( ) km超 け料 年 月分)	□昭和  X頼してください。  令和 年 月	月 日 日 か <sup>1</sup> 局所× 肢× 5 6 7 8 その費用を領 月 日	請求区分  □= □= □= □= □= □= □= □= □= □= □= □= □=	新規 W統 月 E 第三者 第三者 15 16 17 18 19 〒 在 称 電話番号	表 転換 まか ままで 実日 第上・外、	帰 □ 治療 □ 治療 □ 業務上 □ 第 通勤途上 □ そ 摘要	日 日 三 書 行為 元 の他	
施術者が証明するところ	1 2 3 4 往 施前 5 6 同意記録	施術にのできます。 たんしん の の の の の の の の の の の の の の の の の の	者に記入を依 ・	日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日	月 日 日 から	請求区分  回 回 回 回 回 回 回 回 回 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	新規	表 転換 まか ままで 実日 第上・外、	□ 治療 □ 治療 □ □ 業務上 □ 第 □ 通勤途上 □ ₹ 前要 □ 24 25 26 27 28 要加療期	日 日 三 書 行為 元 の他	
施術者が証明するところ	1 2 3 4 往 施前 5 6 同意記録	施術にのできます。 たんしん の の の の の の の の の の の の の の の の の の	者に記入を依 ・	日和   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本	月 日 日 から	請求区分  回 回 回 回 回 回 回 回 回 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	新規	表 転換 まか ままで 実日 第上・外、	帰 □ 治療 □ 治療 □ 業務上 □ 第 通勤途上 □ そ 摘要	日 日 三 書 行為 元 の他	
施術者が証明するところ	1 2 3 4 往 施前 5 6 同意記録	施術にのできます。 たんしん の の の の の の の の の の の の の の の の の の	者に記入を依 ・	日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日	月 日 日 から	請求区分  回 回 回 回 回 回 回 回 回 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	新規	表 転換 まか ままで 実日 第上・外、	□ 治療 □ 治療 □ □ 業務上 □ 第 □ 通勤途上 □ ₹ 前要 □ 24 25 26 27 28 要加療期	日 日 三 書 行為 元 の他	

日野自動車健康保険組合